

弥富市事務事業評価シート 平成29年度実施事業対象

No.	60	—	2	事務事業名	図書館貸出事業	細事務事業名	図書館貸出事業	公的関与	2	シート作成日	平成30年6月6日							
課名	図書館		グループ	図書	担当課長名	横山和久		シート作成者名	三浦由美子									
事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 整備事業		<input type="radio"/> 5 施設の管理運営			事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託							
	<input type="radio"/> 2 施設の建設		<input checked="" type="radio"/> 4 経常的事務事業						<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等							
総合計画	政策目標	4 人が輝き文化が薫るやとみ				実施計画		事業の開始・終了										
	施策項目	生涯学習社会の形成				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		昭和	60 年度	～	平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
	主要施策	生涯学習関連施設の整備充実・有効活用				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		図書館法、弥富市立図書館条例								
個別計画																		
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)													
	図書館利用者				図書館の利用者ニーズに応えるため、図書資料を充実させ、情報提供に役立てます。													
事業の内容	市民の生涯学習活動に寄与するために、各年代のニーズに合った図書館を目指し、情報センターの拠点として、資料の充実を図り市民に提供します。																	
成果指標	①	指標名	蔵書数				②	指標名	貸出点数									
		指標設定の考え方	購入資料と除籍資料のバランスを考慮し、資料増を目指します。					単位	点	指標設定の考え方	各年代のニーズに合った資料を提供します。							
		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度	平成 28 年度		平成 29 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度								
		実績	184,772	実績	183,871	目標		※	目標	190,000	実績	142,596	実績	143,322	目標	※	目標	150,000
		目標	195,000	目標	187,000	目標		※	目標	190,000	目標	160,000	目標	150,000	目標	※	目標	150,000
予算費目	会 計	一般会計				款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	4	図書館費				
直接事業費			平成 28 年度決算額				平成 29 年度決算額				平成 30 年度予算額							
	国・県支出金	千円				千円				千円								
	地方債	千円				千円				千円								
	その他特定財源	千円				千円				千円								
	一般財源	7,311 千円				7,341 千円				7,080 千円								
	計(A)	7,311 千円				7,341 千円				7,080 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	3,000 人				4,000 人				3,000 人								
		22,329 千円				27,600 千円				20,700 千円								
	臨時職員工数・経費	3,300 人	5,280 千円			2,500 人	4,000 千円			2,500 人	4,000 千円							
全体事業費(A+B)		34,920 千円				38,941 千円				31,780 千円								

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価					
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	市民の生涯学習活動の拠点として、各年代のニーズに合わせた資料収集が必要です。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ		<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ
		4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	市民が要求する資料を的確に把握することにより、情報を提供することができます。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。					<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている		インターネットや電子書籍の普及により、図書利用の伸びが少なく感じられます。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている			
2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。					<input checked="" type="radio"/>	あまり上がっていない		<input checked="" type="radio"/>	あまり上がっていない						
3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。					<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している						
4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。					<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している						
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	他市の図書館の事例を参考にしながら、資料収集をする必要があります。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ		<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ		<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ		<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ	
ACTION	一次評価					二次評価									
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価				
		3	4	2	1	B	3	4	2	1	B				
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等					
	当面の課題	過去の常識が最新の研究で覆されるなど、最新の情報を考慮しながら、限られた予算の中で必要書籍を把握して、市民ニーズに合わせたバランスのとれた資料収集をすすめる必要がある。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)								
	課題解決のための改善計画	将来的な指定管理制度、民間委託を考慮しながら、市民が必要な資料収集及び除籍をする必要があります。					当面の課題として、資料収集は図書館運営の根幹であり、充実を図る必要があります。そのための改善計画としては、図書館への利用者のニーズを的確に把握し、その時に即した図書館資料の収集と除籍を計画的に実施していく必要があります。また、将来的には、指定管理者制度や民間委託も考慮していく必要があります。								
	備考														